

夢のフルダイブ技術に向けて（実習の進捗発表）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田口, 拓樹, 水谷, 亮介, 加藤, 怜, 佐藤, 大樹 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00026609

夢のフルダイブ技術に向けて

田口拓樹，水谷亮介（情報科学科），加藤怜，佐藤大樹（情報社会学科）

近年，フルダイブ技術について耳にする機会が増えた．フルダイブ技術が進展すれば，私たちは今の世界と全く違う景色を体感することが可能になるだろう．フルダイブ技術実現のために，必要な技術について予測する．

私たちは「仮想世界と現実世界の区別がつかなくなる技術」をフルダイブの定義とした．

フルダイブ技術実現のため，現在技術開発が進められているのが「Brain Machine Interface (BMI)」である．BMI とは脳と機械を直接つなぐ装置・技術である．BMI には脳に外部から信号を入力するか，脳から外部に信号を出力するか（入力型，出力型）という区別の仕方と，脳に直接電極を設置するか否か（侵襲型，非侵襲型）という区別の仕方がある．一般的には非侵襲型の方が安全性は高い．

以上のことから，私たちはフルダイブの実現のためには，感覚を外部から入力できる入力型で，かつ膨大な量の信号を入力してもリスクが小さいであろう非侵襲型の BMI が必要であると考える．

（学習マネジメント・3クラス）